

## 新島旧邸公開のお知らせ

新島旧邸の敷地には、幕末まで御用大工棟梁中井家の屋敷があり、明治初年には中井屋敷を公家高松保実が所有していました。1875（明治8）年11月29日、新島襄は、この高松邸の半分を賃借して、生徒8名で同志社英学校を開校しました。翌年、学校は旧薩摩藩邸跡に移りますが、その後、新島は高松邸を購入し、自宅を1878（明治11）年に建築しました。これが、現在の新島旧邸です。同志社発祥の地に建つ新島旧邸を、同志社の建学の理念を体感する場として公開します。

公開期間 ①通常公開

4月～7月、9月～11月、3月 毎週 火・木・土曜日（祝日は除く）

②特別公開

春・秋（御所の一般公開期間）、オープンキャンパス、ホームカミングデー、同志社創立記念日、卒業式

※公開日の詳細はHPをご覧ください。<http://archives.doshisha.ac.jp>

公開時間 10:00～16:00（入館受付は15:30まで）

見学対象 ①通常公開

旧邸周囲から建物内部を見学（建物内にはあがりません）

②特別公開

旧邸周囲及び建物内部（母屋1階と附属屋）に入場可

※旧邸建物内に一度に入れる人数は20名程度とします。

入場料 無料

場所 京都市上京区寺町通丸太町上ル松蔭町

※駐車場、駐輪場はありません。公共交通機関を利用してお越しください。

団体見学申込 10名以上の団体は、予約が必要です。団体予約は、見学日の1週間前までに電話・FAX・E-mailにて下記にお申し込みください（電話受付は10:00～16:30）



入場無料

団体申込・お問い合わせ

ハリス理化学館同志社ギャラリー事務室（日・月・祝日は閉室）

TEL：075-251-2716、FAX：075-251-2736

E-mail：n-kyutei@mail.doshisha.ac.jp

# お知らせ

## ハリス理化学館同志社ギャラリー展示のご案内

ハリス理化学館同志社ギャラリーは、創立者新島襄の志と同志社の歴史等を、資料で紹介する展示施設です。ハリス理化学館はJ.N.ハリスの寄附をもとに1890（明治23）年に竣工し、ながらく同志社における理化学教育の拠点となった建物です。現在、国の重要文化財に指定されています。

### 【常設展】

ギャラリー内には6つの常設展示室が設けられています。1階には「新島襄の人と思想」、「同志社のあゆみ」、「世界の中の同志社」、「同志社の今」、2階には「J.N.ハリスと同志社」、「京都の中の同志社」と、部屋ごとにテーマがあり、創立以来の歴史と共に、京都や世界と共に歩んできた同志社の足跡をたどることができます。

### 【企画展】

年3回程度開催される企画展は同志社に関わるテーマだけにとどまりません。新しい文化を発信する施設としてふさわしい企画展も適宜開催しています。

※常設展（2か月に1回程度の展示替え有）は常時開催、企画展は詳細が決まり次第、ホームページでお知らせします。

入 場 料 無料

開館時間 10:00～17:00

閉 館 日 毎週日曜日（ただし企画展開催中は日曜日も開館します）

毎週月曜日及び祝日、ゴールデンウィーク、夏期休暇中の一定期間、年末年始（休館日等、変更される場合があります。お越しになる前にホームページ等でご確認ください）

場 所 同志社大学 今出川キャンパス

※駐車場、駐輪場はありません。公共交通機関を利用してお越しください。



入場無料

お問合せ ハリス理化学館同志社ギャラリー事務室（日・月・祝日は閉室）

ホームページ：<http://harris.doshisha.ac.jp/>

TEL：075-251-2716 FAX：075-251-2736

E-mail：[ji-harjm@mail.doshisha.ac.jp](mailto:ji-harjm@mail.doshisha.ac.jp)